令和元年度事業報告書

令和　２年　５月

特定非営利活動法人　都筑里山倶楽部

目　次

Ⅰ．施設の概要と指定管理者　1
１．　施設　1
２．　施設の指定管理者　1
３．　令和元年度管理運営実績の総括　1
Ⅱ．指定管理業務　2
１．　管理エリアと運営体制　2
１－１　管理エリア　2
１－２　管理運営体制　3
（１）　組織体制　3
（２）　実施された会議など　3
（３）　個人情報管理・研修　3
（４）　緊急時の体制と対応　3
２．　施設運営業務　4
２－１　利用者サービス　4
（１）　顧客満足度調査アンケート　4
（２）　参加者アンケート　4
２－２　清掃活動　4
２－３　障害者対応　4
２－４　指定管理者の表示　5
２－５　正会員・準会員の募集・研修　5
２－６　広報活動　5
２－７　事故、災害の防止　6
２－８　防犯、防火対策　6
２－９　不法行為への対応　6
２－10　拾得物・残置物の処理　7
２－11　自然体験施設（フィールド）の運営　7
３．　指定管理者として実施すべき事業　8
３－１　炭焼き活動　8
３－２　四季のイベント実施　8
３－３　農作業体験　9
３－４　自然観察会、自然体験教室　10
３－５　レストハウスの活用　10
４．　施設維持管理業務　11
４－１　園地（自然体験フィールド）の維持管理　11
４－２　建物の維持管理　14
４－３　設備の維持管理　15
４－４　修繕　15
４－５　清掃等　15

４－６　宮谷戸・ばじょうじ谷戸炭焼活動　16
５．　各種報告書等の作成、提出等　16
５－１　事業報告書、四半期報告書及び月報の作成、提出　16
５－２　その他記録等の作成及び保存　16
６．　備品等の管理・使用　16
Ⅲ．自主事業　16
Ⅳ．その他　17
１．　自己評価の実施　17
２．　日常業務の調整　17
３．　横浜市脱温暖化方針Ｇ－３０・ヨコハマｂプランへの協力　17
４．　その他横浜市への協力　18
５．　法令等の遵守　18
Ⅴ．管理運営経費　18
１．　経費方針　18
（１）経費節減　18
（２）指定管理費以外の資金調達　18

Ⅰ．施設の概要と指定管理者

１．施設

施設名	都筑中央公園自然体験施設
所在地	都筑区荏田東４丁目１１番
主な施設	雑木林・竹林・池・水田・レストハウス等
規模・面積	計３．５ｈａ（都筑中央公園総面積１９．６ｈａの約１８％）
指定開始時期	平成２０年７月１日

２．施設の指定管理者

法人名	特定非営利活動法人　都筑里山倶楽部
所在地	都筑区茅ヶ崎中央５７－８
代表者	長沼　義雄
設立年月日	平成２０年３月１２日
指定期間	平成２８年４月１日から令和３年３月３１日まで（第３期）

３．令和元年度管理運営実績の総括

年度協定書、業務仕様書、基本水準書及び当施設個別仕様書に記載されている施設管理業務は自然体験施設維持管理マニュアルに従って実施した。また、北部公園緑地事務所と連絡を密にして業務を遂行した。

里山の豊かな自然を体験し交流を広げるよう、四季のまつりイベント、自然観察会、農作業体験、親子自然体験など数多くの行事を実施した。ビッグイベントは天候に恵まれ参加者は増加したが、年度末に発生した『新型コロナウィルス』感染防止の為、３月のイベントが中止となり尻窄みの形となってしまったが、総参加者は１２，４００人で前年度微増となった。

公園施設および施設での活動は、ホームページ、会報「里山だより」の他、広報よこはま、地域マスコミ・ミニコミ誌及びケーブルＴＶ等を通して広報に努めた。

今指定管理期間通算の年間施設利用者は概算４．５万人だが、本年度は、約１０％減の４．１万人であった。イベント時の好天候にも拘らず施設利用者数が伸びなかったのは、『新型コロナウィルス』の影響が大であると感じられた。

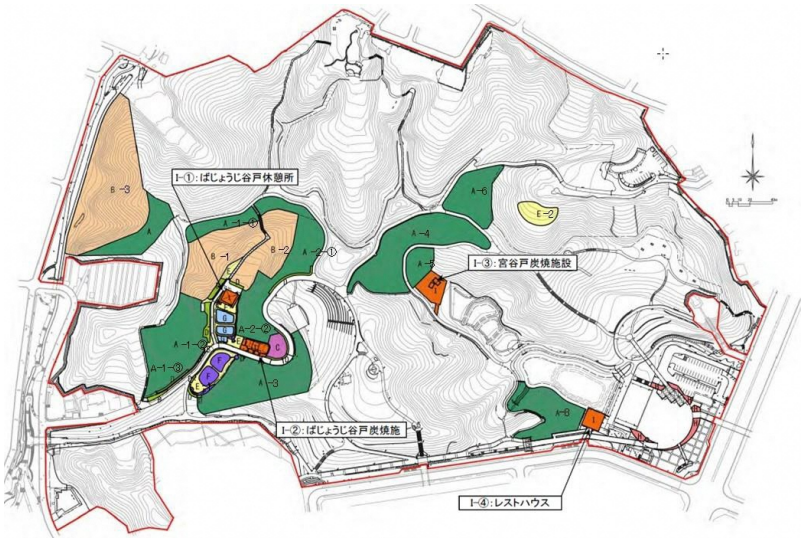
地域との協働を図るため、地域で行われた『スプリングフェアー』、『子育て地蔵まつり』、『つづき区民まつり』、『ちがさきっ子まつり』、『つづき人交流フェアー』等の行事に、積極的に参加、協力した。

昨年度に続き中高生を対象にした「はぁとＤＥボランティア　２０１９」（主催：つづきＭＹプラザ都筑多文化・青少年交流プラザ、都筑区社会福祉協議会、都筑区青少年指導員連絡協議会　共催：都筑区役所　後援：横浜市教育委員会　協力：都筑警察署、都筑防犯協会）の受け皿として、夏の『流しソーメン』イベントへの受け入れを登録し、４名の中学生にボランティア作業に取り組んでもらった。

Ⅱ．指定管理業務

１．　管理エリアと運営体制

１－１　管理エリア



	整理番号	エリア記号		エリアの環境区分（管理方針）
		大区分	中区分	
自然体験施設　フィールド	１	A 雑木林	A－１－①	常緑広葉樹主体林
	２		A－１－②	落葉広葉樹主体林（一部景観畑として管理）
	３		A－１－③	落葉広葉樹主体林
	４		A－２－①	落葉広葉樹主体林
	５		A－２－②	落葉常緑混交林と草地（炭焼き施設周辺）
	６		A－３	落葉広葉樹主体林
	７		A－４	落葉広葉樹主体林
	８		A－５	落葉広葉樹主体林(炭焼き施設内を含む)
	９		A－６	落葉広葉樹主体林
	１０		A－８	落葉広葉樹主体林
	１１	B 竹林	B－１	竹林（西側を通る園路に接する部分は雑木林として管理）
	１２		B－２	竹林
	１３		B－３	竹林（隣接するＡ区域を合わせ竹林として一体で管理）
	１４	C	C	梅林
	１５	D	D	植栽地
	１６	E 草地	E－１	水辺の草地（湿地・水路）
	１７		E－２	観察草地
	１８	F	F	池
	１９	G	G	水田
	２０	H	H	バラ花壇
建物	２１	I	I－①	ばじょうじ谷戸休憩所と周辺
	２２		I－②	ばじょうじ谷戸炭焼施設と建屋･小屋等
	２３		I－③	宮谷戸炭焼き施設と建屋･小屋等
	２４		I－④	レストハウスとその周辺

１－２　管理運営体制

（１）組織体制

組　　織	体　　制
総会	正会員　３４名
理事会	理　事　　８名、監　事　２名
事務局	事務局長　１名、職　員　５名
フィールド管理活動	４部会　１０名

（２）実施された会議など

① 総会・理事会

・令和元年度　第１回理事会　　令和　元年　５月　８日開催
　平成３０年度事業報告し、収支報告を審議した。

・令和元年度　第１２期定期総会　令和　元年　５月２５日開催
　平成３０年度事業報告、平成３１年度事業計画を審議した。

・令和元年度　第２回理事会　　令和　元年　８月１７日開催
　チッパーの更新、規則の改訂を審議した。

何れの議案も全て提案通り可決された。

② 北部公園緑地事務所との打合せ・会議

今年度は次期指定管理者選定に向けて積極的に定例会議を開催する事を申し合わせたが８月に１回開催したのみであった。しかし、常に連絡を密にして施設の運営管理を実施した。

③ 部会代表連絡会議

今年度の課題の徹底と連絡事項の確認・スケジュール調整・業務推進上の問題点討議・実績評価などを議題とした会議を平成３１年４月～令和２年３月まで月次で開催した。事務局長が招集し、参加メンバーは理事長・副理事長・各専門部会長・副部会長・事務局スタッフの計１７～１９名で開催した。

（３）個人情報管理・研修

① ４月　事務局職員、フィールド管理者に横浜市の『個人情報の保護に関する条例』及び当法人の『個人情報保護規定』に従いに研修を実施した。

② １２月　９日　横浜市が主催する『令和元年度企業人権啓発講演会』に参加した。

③ １２且１２日　横浜市が主催する『令和元年度横浜市指定管理者研修』に参加した。

（４）緊急時の体制と対応

① 緊急連絡網を壁に貼り、緊急時対応を開示した。

② 各部会で事故防止マニュアルを作成し、活動前の打ち合わせ時に『危険予知確認』を実施した。

③ 緊急時対応として、ＡＥＤ取り扱い、心肺蘇生訓練を実施した。

④ 防災訓練を実施した。
⑤ 救急箱をレストハウス、ばじょうじ谷戸休憩舎に常備した。
⑥ 観察会等の園内移動行事に対して携帯用救急セットを用意した。

２．施設運営業務

２－１　利用者サービス

施設利用者のサービス改善を目的として来園者への『顧客満足度調査アンケート』及びイベント参加者への『参加者アンケート』を実施した。

（１） 顧客満足度調査アンケート

都筑中央公園の来園者は、動植物が豊かな自然の中を歩いて花や木、昆虫などの動植物を観察したり、写真撮影するなど多目的に訪れる。アンケートに応えてもらえる方々は、初めて中央公園を訪れ、都会の真ん中に自然豊かな広々とした空間に感動し、満足度はおおよそ良好ですが、『接遇の重要性』を再確認し、車両通行マナーの徹底、施設運用ルールの改善を図り、来園者への対応改善を常に心がけた。

アンケートの要望には、里山倶楽部で対応可能な案件に対しては可能な限り対応し、公園全体に係る案件に対しては、北部公園緑地事務所へ繋げた。

年間のアンケート回答数は昨年度が１７件、本年度は１１件と微減した。より多くの方からの要望をくみ取ってサービスの改善を継続した。

（２） 参加者アンケート

今年も年間９０を超えるイベントを開催し、３１のイベントでアンケートを回収した。大半のアンケートは、満足であったとの好評価であったが、幼児対応に配慮を求める声が有り次年度の企画に反映させる。

２－２　清掃活動

（１） レストハウス

① 休館日及び木曜日以外の日に清掃活動を実施した。
② レストルーム、事務室、会議室の床面掃き掃除を実施した。
③ トイレは、男性・女性・多目的の３ヵ所を清掃実施した。
④ 展示ケース、展示品は清掃をを実施した。
⑤ 窓ガラスの拭き掃除清掃を行い、年度末に専門業者による清掃を実施した。

（２） ばじょうじ谷戸休憩舎

① 休館日及び木曜日以外の日に清掃活動を実施した。
② 土間の掃き掃除を実施した。
③ トイレは、男性・女性・多目的の３ヵ所を清掃実施した。

２－３　障害者対応

（１） 自然体験施設への身体障害者補助犬の同伴を受け入れ、レストハウスには車椅子に乗車したまま入場できるように表示を掲示した。

（２） 車椅子１台をレストハウスに常備し貸出対応をした。

２－４　指定管理者の表示

自然体験施設が指定管理者とされた都筑里山倶楽部により運営管理されていることを明示するために、レストハウス内事務所入り口上部にその旨を掲示した。

２－５　正会員・準会員の募集・研修

（１） 会員の募集はホームページ・広報紙・イベント時等様々な機会を利用して実施した。

（２） 入会した会員は当法人の会員として登録され、活動・運営に参加した。

（３） 会員以外のボランティア活動希望者を広く受け入れ、活動に参加できる体制があることを、機会有る毎にＰＲした。

（４） 新会員に対し里山倶楽部の沿革や公園の歴史および自然体験施設に関する基本事項についての入会者オリエンテーション教育を実施した。

（５） 保全や炭焼等の定例作業に参加する新会員に対して、各々の作業前に機械・道具類の技術研修を実施した。

（６） 年一回の防災・救命救急講習を実施した。

（７） 令和元年度会員状況機以下のとおり。

	区分	会員数	新規加入	前年度	増減
令和元年５月現在	正会員	33	0	33	0
	準会員	69	10	86	-17
	計	102	10	119	-17
	ジュニア	14	5	26	-12
	合計	116	15	145	-29

２－６　広報活動

基本方針で述べた活動を多くの市民、公園利用者に広報するためメディアを広く活用し積極的に推進した。

（１） ホームページ運用

原則月次で更新するホームページを次に示すウェブページ上で公開している。

http：//www１.tmtv.ne.jp/~satoyama/

ホームページの１日当たり平均アクセス数は、４２．６件となっている。

（２） 里山便り発行・配布

機関紙里山便りを毎月作成し、里山倶楽部の会員、横浜市・都筑区関連部署、近隣施設等に配布すると同時にマスコミ・ミニコミ誌等にも送付した。

（３） 地域メディアの利用

ケーブルＴＶ、東急電鉄広報誌、タウンニュース等の地域メディアの取材に積極的に協力し紙面掲載、放送広報を推進した。

（４） 自治会協働

『ローザ・つづきくバラまつり』、『里山まつり』の２大イベント時に、都筑区連合自治会の協力を得て全自治会に『回覧用パンフレット』を１，２００枚配布した。

（５） その他広報

横浜市広報の利用、紙媒体以外の広報媒体をも広く利用し、イベント等の広報チラシの配布も積極的に推進した。

２－７　事故、災害の防止

次に示すような様々な手段を講じて事故・災害の防止対策を実施した。

（１） 施設内での事故防止、迷惑行為等防止のため、施設の利用状況を適宜把握し、必要に応じ利用者へ注意・指導を行う等適正な管理を実施した。

（２） 事故や災害発生に備え、予め防災対応マニュアルを作成した。非常時連絡表を定め、必要な機器を用意した。

（３） 事故や災害が発生した場合は直ちに横浜市に報告し、その指示に従うマニュアルを作成し対応した。

（４） 荒天が予想される場合は事前に備品の固定、収納を行うとともに、荒天後は施設内を巡視し、点検結果を横浜市に報告した。

２－８　防犯、防火対策

次に示すような様々な手段を講じ、防犯・防火対応を実施した。

（１） 事務所・炭焼小屋等一般の立入が規制されている場所の解施錠等の点検、確認及び鍵の適正な管理を実施した。

（２） 施設来園者を不快にさせる過度な監視は避け、自然な人の目が来園者に注がれるような人員配置対応を実施した。

（３） 施設の開園時間中に異常が発生した時は、来園者の安全確保を最優先とする対応マニュアルに準じた行動を定めた。

（４） 事故発生後は適宜横浜市、警察、消防等関係機関に連絡する対応マニュアルに準じた行動を定めた。

（５） 定期的に防災設備の使用方法や避難経路の確認を実施した。

（６） 放火等の原因となる可燃物を建物周辺に放置しない整理清掃を実施した。

（７） 時間外・休館日に発生した異常を把握した時は、現場に急行し現状確認を行うとともに適宜横浜市、警察、消防等関係機関に連絡するマニュアルに準じた行動を定めた。

（８） 火災等非常時の迅速な対応ができる防災訓練を実施した。

２－９　不法行為への対応

次に示すような様々な手段を講じて不法行為に対応した。

（１） 施設開館日には毎日施設内巡視を行うとともに施設内の見通しを良くし、施

設内での犯罪発生阻止対応を実施した。

（２） 他の施設利用者の迷惑、危険となる行為をしている利用者がいる場合は、指導対応を実施した。

（３） 施設又は施設利用者が原因で、施設外で苦情等が発生した場合、必要に応じて施設利用者へ指導を行う等適正な対応を実施した。

２－10　拾得物・残置物の処理

施設内での拾得物・残置物は次のようなマニュアルを作成し対応した。

（１） 拾得物は、拾得物台帳に記録し、３カ月保管後処理をする。（多数処理実施）

（２） 貴重品は、原則当日は届出を待ち、翌日に都筑警察署に届ける。（１件処理）

（３） 施設内に残置された自転車等で持ち主が不明であり、明らかに廃棄物と判断されるものについては３ヵ月間保管した後処分する。（処理無）

（４） 廃棄したものかどうか疑わしい場合は、１ヶ月間撤去要請の告示（貼り紙）をした後、届け出が無い場合には（３）同様廃棄処分する。（処理無）

２－11　自然体験施設（フィールド）の運営

（１） 環境に配慮した運営

横浜市脱温暖化行動方針（Ｇ－３０）に従い、二酸化炭素の排出削減に努め、横浜市の推進するヨコハマ３Ｒ夢の取り組みに積極的に参加した。

① 施設内で発生した剪定枝や刈草等は、チッパーに掛け資源（堆肥）化した後再利用し焼却ゴミの減量化を図った。

② 公園内で発生したゴミは、分別保管し一定期間毎に事業系ゴミとして処分した。

③ ごみゼロを念頭に事業所内から発生したゴミは分別収集しルート回収に取り組んだ。本年度のゴミ廃棄量は２７４．２Ｋｇ、資源化量６３３．２Ｋｇで、資源化率６９．８％であった。炭焼き施設の環境整備を昨年度に引き続き実施し、長年放置されていた不要物品を整理廃棄したため、昨年度対比で廃棄量が増加してしまった。

④ ２ヶ所の炭焼き施設では、保全作業の結果排出された竹や雑木などで炭焼きを実施した。

⑤ 間伐竹材・木材の有効利用を図るために竹細工品の作成や、落ち葉やチップを使った堆肥の利用などを推進している。

⑥ 間伐されて払下された木材は、薪製品として販売した。

※活動から発生した廃棄材の処理は、３Ｒ夢（リサイクル・リユース・リデュース）の典型であり脱温暖化に貢献した活動を実施した。

（２） 地域の自然を身近に感じられる運営

自然体験施設の管理運営を通して、古くからの人と自然の関係性・協調性を感じながら体験できる運営を実施した。

① 施設利用者及びイベント参加者が、自然を身近に感じられ、人間の生活が

自然に根ざしたものであることを理解できるような運営を心がけた。

② 自然環境と十分に接する場を提供することを心がけた。

③ 横浜に残された貴重な自然を通し、命の大切さとそれを守る多くの人々の活動を体感できるような運営を心掛けた。

（３） 地域に残った自然を保全するための運営

都筑中央公園自然体験施設では、可能な限り従来の生態系を維持し、自然環境保護に配慮した運営を行った。

① 地域固有の植生・生態系と土壌に配慮し、その土地ならではの自然環境を守り育てるよう心がけた。

② 固有の植生・生態系の把握に努め、生物モニタリングを実施した。

③ 日常的な施設利用及びイベント開催と自然環境保護のバランスを取った運営を心がけた。

（４） 環境活動への興味を促す運営

ボランティア参加者・市民参加者が、人間と自然の関係性を考える機会となるようなイベントの企画・実施を心がけた。また関連イベントで参加者に３Ｒ夢コンセプトの説明を通し環境活動の意義を浸透させた。

３．指定管理者として実施すべき事業

平成３１年（令和元年）度の年間実施事業の内、専門部会または事務局が中心となって実施した事業は下記のとおり。

３－１　炭焼き活動

自然体験施設内で発生する間伐材（竹材・木材）の有効利用、事業ごみの削減、土地に伝わる炭焼きの継承などを目的とした炭焼き事業は炭焼きと並行して炭材作り、竹酢液の採取も実施した。

（１） ８月を除き年１１回の炭焼き活動（第２土曜日に炭材の窯入、炭材の切出し、第３土曜日に炭焼火入、第４土曜日に窯出の作業）を実施した。

（２） 毎週水・金曜日に炭焼付帯作業として、事前準備（ＰＧバーナーの設置、煙突の据え付け等）や事後作業（ＰＧバーナーの撤収、付着したタールの除去、竹酢液・木酢液の保存及び製品化、竹炭、木炭の製品化等）を行うとともに、窯、ＰＧバーナー、煙突などの設備の点検整備も行い、常に良好な状態で炭焼が出来るように活動した。。

（３） ２月１５日　ジュニアくらぶ共催の親子炭焼き体験実施。

３－２　四季のイベント実施

市民に里山の自然を身近に感じてもらうため、季節ごとにイベントを開催した。

（１）春　　ローザ・つづきくバラまつり　　５月１９日　実施

つづきく由来のバラを愛でる『ローザ・つづきくバラまつり』は、円形広場のバラ花壇に植えられ、当法人が丹精込めて手入を続けている『ローザつづきく』の花盛りの季節に開催した。都筑区役所への後援依頼、来賓『区長』挨拶依頼、

区内の自治会・町内会の掲示板へのポスターの掲出依頼をするなど、地域住民への周知と地域情報紙・ケーブルＴＶ等を使った事前ＰＲを十分に実施した。
ステージは、舞台文化協会のキッズ・ダンス及び軽音楽協会のコンサート、そして近隣商店街の『ゆるキャラ・えだきんぎょ』も昨年に引き続き出演し、出演者全員によるダンスと歌でステージが大いに盛り上がった。
円形広場のバラ花壇と反対側に設えたフードコーナーでの飲食サービス、綿あめづくり体験、竹細工体験も盛況であった。
広場中央では、各自作成のタケトンボをどの位永く空中に飛ばせるかを競う、タケトンボマイスターコンテストで大きな盛り上がりを見せた。

（２）夏　　七夕まつりと流しソーメン　　８月　１日　実施

この地域では昔８月に『七夕（しちせき）の節句』を行っていたことにちなんで旧暦で開催した。今年度は８月１日～７日の７日間開催し、短冊に様々な願い事を書いて孟宗竹の枝葉につりさげた。また、七夕節句はソウメンゼックとも呼ばれていたことに関連し、１日には流しソーメンを行い、１５２名の参加者が地域に伝わる行事を楽しんだ。
『流しソーメン』を、『はぁとＤｅボランティア』の中学生の体験日として登録し、４名の中学生を受け入れた。最後の後片付けまで参加し、後日のお礼状に『楽しくボランティアをすることが出来ました』、『またボランティアをしたい』とボランティアの基本を理解してもらえた。
来年度も継続して、受け入れ先として登録していきたいと思っている。

（３）秋　　里山まつり　　１０月２７日　実施

都筑区役所への後援依頼、区内の自治会・町内会の掲示板へのポスターの掲出依頼をするなど、地域住民への周知と情報紙を使った事前ＰＲを十分にし、都筑区長及び北部公園緑地事務所鹿島係長の来賓挨拶を頂き、暑い日差しの中スタッフは汗だくで餅つき、餅販売、里山ナベ、田楽、フライドポテト、綿菓子体験、冷た～い生ビール販売に奮闘した。来場者は竹細工、竹細工製品の装飾、ネイチャークラフト作りの体験を楽しみ、竹炭、竹酢液と里山の恵みを購入した。

（４）冬　　正月遊びと餅つき　　１月１９日　実施

餅つき体験付きで開催し凧揚げ、独楽回し、羽根つき、福笑い等、昔の子供遊びに１２９名を超える親子の参加者に加え散策者も参加し、昔子供が夢中になって教えている姿が微笑ましく映っていた。

３－３　農作業体験

（１）米つくり体験

①　田植　　６月　２日　実施。

田んぼの大きさは２枚で計約１５０ｍ^{2}と小型であるが、６月２日の田植え体験イベントには６０名もの大勢の親子が参加した。

②　稲刈り　　１０月６日

午前中のはさつくりを終えて午後には稲刈り体験を開催し、５０名の参加があった。普段は体験できない米つくりを都会の子供たちに大いに楽しんでもらうことができた。収穫したもち米は、『お正月遊びと餅つき』に於いて子供達の餅つき体験に使用される。

（２） 根菜類

植え付けから、手入れ、収穫までの体験イベントを行った。

① ジャガイモ

植付け　　３月　２日

収穫　　７月　６日　実施した。

７月６日にジャガイモ料理の試食会を開催した。

② サトイモ

植付け　　４月　６日

収穫　　１０月１２日　　実施した。

里山まつりで『里山なべ』や『田楽』の材料となり来場者の高評価を得た。

③ サツマイモ

植付け　　5月２６日

収穫　　１１月１６日　作柄不良で収穫出来なかった

サツマイモに関しては、昨年２月に実施された、『萌芽更新』伐採・剪定により令和元年度は、日照が多くなり大きな芋が期待されたが、実りの小さな芋しか収穫できなかった。

３－４　自然観察会、自然体験教室

地域に残った自然を保全するための運営

（１） 植物観察会　　５回予定　４回実施

４月７日、４月２８日、９月２２日、１１月２４日、３月２２日(中止)

（２）野鳥観察会　　３回予定　３回実施

５月５日、１０月６日、２月９日

（3）昆虫観察会　　７回予定　６回実施

４月１４日、5月４日、6月９日、7月２７日、8月４日、１０月２０日

3月　８日（中止）

（4）大池の生き物　２回予定　２回実施

5月２６日、7月２１日

（5） キノコ　　２回予定　２回実施

７月７日　９月１４日

３－５　レストハウスの活用

（１） レストルーム　展示エリア

① 展示コーナーに通年次の展示を行い施設来園者にその歴史や魅力を伝えた。
② 通年自然体験施設及び中央公園・港北ニュータウン等をパネル展示した。
③ 通年公園内の動植物等を写真展示した。
④ 中央公園の今（旬）を写真展示した。
⑤ １月１１日～１９日まで里山写真展を開催した。
⑥ 来園者が自由に利用出来る様開放した。

（２） 会議室

① 毎週金曜日に都筑区が主催する『子育て支援』に会議室を貸出した。
② 会議室を様々な団体のセミナーや会議に貸出した。

４． 施設維持管理業務

４－１ 園地（自然体験フィールド）の維持管理

管理エリアの特性を踏まえた里山の作業計画・管理計画に基づき実施した。

毎日の巡視や保全活動等を通して把握された枯損植物、枯れ枝、支障枝は必要に応じ除去した。

また、ハチやカラス等生物に起因する危険の把握に努め、危険が発生した場合は施設利用者に注意を喚起し、安全管理に努めるとともに横浜市と調整し適切な対応に努めた。

これらの保全活動に必要な鎌、鋸等機材の取扱、作業手順や安全管理等の研修を実施した。

（１） 動植物調査・観察・活動

施設の管理エリア毎に保全すべき自然環境･動植物の目標を定め、定期的な調査により確認を行った。また、自然観察会に備え、管理区域内に生息する動植物の状況を確認した。

① 調査結果は集計・分析して管理計画に反映させた。
② 生物多様性に準拠して６・８・９月に計４回アメリカザリガニ駆除活動を実施した。
③ 動植物調査に協力できる人材の確保・育成・研修を実施した。
④ 保全計画に記述して有る指標種をエリア毎に調査記録表を作成しモニタリングを実施した。
⑤ 平成３０年２月に実施した萌芽更新エリアを保護し、指定した地域を市と保全部会・調査観察部会共同でフォローアップ研修を実施した。
⑥ 自然発生した雑木の実生苗を保護・育成した。

（２）雑木林維持管理

雑木林（エリア区分Ａ）では多様な林床植物や昆虫・野鳥が観察できるため、動植物の保護に配慮し、樹木の越境にも留意して下記の維持・保全管理作業を実施した。

① 林床、草刈、（ササ刈） ２回／年（選択的草刈り）
② 園路沿作業、草刈、ササ刈

③　枯損木、枯枝切除、処理（応急処置）
④　立木：枝打、間伐、落下枝片付
⑤　園路清掃
⑥　林床、侵入竹切除
⑦　外来種植物駆除、実生抜去
⑧　チッパー、シュレッダー作業（燃焼ゴミ削減・堆肥化）

雑木林エリアの特性に拠り下記の維持・保全管理作業を実施した。

①　カワセミ営巣地・随時調査
②　萌芽更新後樹種別経過観察
③　小鳥の水飲み場確保
④　泥上げ、草取り
⑤　植栽低木：更新、剪定、刈込
⑥　水路・両岸草本管理（分水堰の泥上げ随時）
⑦　落ち葉溜め（残渣搬入・堆肥化）

（３）竹林維持管理

竹林（エリア区分Ｂ）は良好な景観に配慮した竹林の育成に努め、越境にも留意し下記の維持・保全管理作業を実施した。

①　タケノコ選別除去　１回／年
②　枯損木、枯枝切除、処理
③　竹の間伐
④　林床：除草、ササ刈、清掃
⑤　園路・園路沿い草刈
⑥　外来種植物駆除、実生抜去
⑦　竹林林床腐葉土化（落葉かき時）
⑧　施肥　米糠
⑨　当年竹年記入
⑩　チッパー、シュレッダー作業（燃焼ゴミ削減・堆肥化）

（４）梅林維持管理

梅林（エリア区分Ｃ）は来園者が梅の花を楽しむことができるような手入を行うと共に、生き物の生息環境に配慮し下記の維持・保全管理作業を実施した。

①　林床、草刈、２回／年
②　剪定、２回／年（計　２１本）芽欠き、誘引作業
③　病害虫防除、随時
④　施肥　２回／年
⑤　外来種、（ササ、ヤブカラシ共）抜根
⑥　生垣作業
⑦　園路沿い草、ササ刈、草取り
⑧　草取り：希少種を残す
⑨　園路清掃

⑩　梅林用堆肥作り（切返し時：潅水、米糠混入）

⑪　チッパー、シュレッダー作業（燃焼ゴミ削減・堆肥化）

（５）植栽地維持管理

植栽地（エリア区分Ｄ）はアジサイを中心に里山の雰囲気に合う低木が植栽されているため、良好な景観と周囲環境に配慮し下記の維持・保全管理作業を実施した。

①　林床、草刈、（ササ刈）２回／年（選択的草刈り）

②　園路沿作業、草刈、ササ刈

③　枯損木、枯枝切除、処理

④　紫陽花剪定、花柄摘み

⑤　低木手入れ（チップ敷設含む）

⑥　立木：枝打、間伐、落下枝片付

⑦　外来種植物駆除、実生抜去

⑧　チッパー、シュレッダー作業（燃焼ゴミ削減・堆肥化）

（６）草地維持管理

草地（エリア区分Ｅ）は水辺周辺にいる昆虫の住処となっているため、良好な景観と周辺環境、生き物に配慮し下記の維持・保全管理作業を実施した。

①　草刈１－２回／年

②　立木：枝打、間伐、落下枝片付

③　枯損木、枯枝切除、処理

④　園路沿い草刈り、生垣刈込

⑤　外来種植物駆除、実生抜去

⑥　湿地、水路整備、落ち葉かき

⑦　水辺植物の保護

⑧　樹木（育成し野鳥の止まり木）

（７）湿地・池維持管理

池（エリア区分Ｆ）には水生生物が生息しており、それを狙う野鳥も飛来している。流れ込む水や泥等の状況を把握し下記の維持・保全管理作業を実施した。

①　浚渫、随時

②　漏水等の点検、随時

③　倒木・落下枝片付、随時

④　土止め敷設

⑤　揚水施設管理

⑥　カワセミ飛来調査

（８）水田・畑維持管理

水田（エリア区分Ｇ）には里山の雰囲気に合った、イネ、レンゲを植え下記の維持・保全管理作業を実施した。

①　水田通年状態　　乾田・湿田：施肥

　　苗代作業　　もち米種：まんげつ

田の草取り　　適宜
畔管理　　１回／年
草刈り　　適宜
② ニホンアカガエル保護活動　　保護ネット張
③ 園路・園路沿い　　草刈、他

畑（エリア区分G）には里山の雰囲気に合った、ナノハナ、ジャガイモ、サトイモ等の作物を栽培した。また、それらの利用に配慮し下記の維持・保全管理作業を実施した。

① ジャガイモ　　植付、施肥
耕起、土寄せ
芽かき
害虫駆除
潅水
補殺随時
畑の手入れ
② 藍の栽培
③ サトイモ　　植付、施肥
耕起、土寄
芽伏せ
害虫駆除
潅水
補殺随時
④ 畦畔
⑤ 畑地の維持　　除草
客土

（９）バラ花壇維持管理

バラ花壇（エリア区分H）には『ローザつづきく』および『はまみらい』が植えられている。それらの育成に配慮し下記の維持・保全管理作業を実施した。

① 施肥　　２回／年・追肥
② 花柄摘み　　６回／年（葉、蕾、花）
③ 剪定　　３回／年（枝抜き、芽かき、ピンチ）
④ 病害虫防除　　６回／年（必要に応じ適宜施行）
⑤ 灌水随時　　チュウブ敷設
⑥ 除草　　浸透性粒剤併用２－１０月　１回／月
⑦ 散水施設常設　　維持工事
⑧ 新品種移植　　２月　市配布　５品種移植

４－２　建物の維持管理

維持管理基本水準書に規定される建物の管理基準に基づいて設計された、『施設管

理者点検』に従い建物の維持管理を実施した。維持管理業務遂行に当たっては確実性・安全性・経済性に配慮し、設備に損傷が生じた時に速やかに横浜市に報告し指示を仰いだ。

（１） 屋根（劣化、雨漏り、炭焼小屋：欠落杉皮葺） 目視確認
（２） 軒周り（破損、腐食） 目視確認
（３） 外壁（破損、腐食、汚れ、キズ、落書き等） 目視確認
（４） 基礎（劣化ひび割れ、水漏れ） 目視確認

４－３　設備の維持管理

施設利用者が快適に施設を利用できるように管理した。維持管理基本水準書に規定される設備管理基準に基づいて設計された、『設備日常点検記録』に従い設備の維持管理を実施し、空調機・温水器の故障を報告し更新した。

（１） 屋外空調　目視確認
（２） 屋内空調　フィルター清掃
（３） 消火器　定期点検・目視確認
（４） 火災報知器　目視点検
（５） 給・排水　給・排水確認
（６） 通信　清掃
（７） 炭焼窯　目視点検・確認
（８） 付属設備　目視点検・確認
（９） シャッター　自主点検
（１０） 自動ドアー　自主点検
（１１） 電気　法定点検
（１２） 防災設備　法定点検
（１３） 自動火災報知器　法定点検

４－４　修繕

（１） 宮谷戸炭焼き窯の修理を実施した。
（２） レストハウス自動ドアーの障害を報告し、センサーの修理を実施した。
（３） レストハウス会議室空調機動作不良。空調器機更新。
（４） ばじょうじ谷戸休憩舎温水器動作不良。温水器機更新。
（５） レストルーム雨漏り。屋上排水桝修理。

４－５　清掃等

次の事項に沿った清掃活動を実施した。

（１） 汚損箇所の早期発見の必要から、職員等が開館時に建物周りの目視点検を実施した。
（２） 清掃器具の使用や清掃手順については、入館者に配慮し実施した。
（３） 清掃対象の材質や箇所・状態に合わせて、適切な清掃用具を選択し、適切な薬

剤等の使用を留意し実施した。

（４） 日常トイレ清掃作業および床清掃作業はシルバー人材センターに委託して実施した。

（５） レストルーム窓ガラス清掃を『おそうじ本舗』に依頼し清掃した。

（６） レストハウストイレ清掃を『おそうじ本舗』に依頼し清掃した。

４－６　宮谷戸・ばじょうじ谷戸炭焼活動

宮谷戸・ばじょうじ谷戸に設置されている炭焼施設は最良の状態を維持し、8 月を除き年間１１回の炭焼き活動を実施した。活動時に施設を快適に利用できるよう下記に注意を払って活動を実施した。

（１） 安全性・経済性を追求した。

（２） 周辺環境への配慮（天候）をした。

（３） 適宜、資材・機材の整理整頓を実施した。

（４） 燃料等の使用状況を常に把握し、適正に管理補充した。

（５） 公園散策者が不用意に立ち入らないように、炭焼小屋出入り口は非使用時施錠した。

５．　各種報告書等の作成、提出等

５－１　事業報告書、四半期報告書及び月報の作成、提出

次の報告書を所定の期限までに横浜市に提出した。

（１）月報	翌月末まで
（２） 四半期報告書	四半期終了後３０日以内
（３） 事業報告書	年度終了後６０日以内

５－２　その他記録等の作成及び保存

日報を含め管理運営並びに経理に関する帳簿類は常に整理し、横浜市からの請求に応えられる保管を実施している。

６．備品等の管理・使用

（１） 備品、展示品、その他建物に付属する用品等は、リスト化し、所在や保存状態を把握している。

（２） 所蔵品、文書等は、保存に配慮した管理保存を実施した。

（６） 一般公園利用者が不用意に、管理部門（事務所等）へ立ち入らないように出入口に注意書きを表示し、空室にする時は施錠した。

Ⅲ．自主事業

１．　次世代の『里山人』を育成する『ジュニアくらぶ（保護者と小学生）』を組織し、４月のオリエンテーションに始まり５・１０・３月の４回に渡り親子で共同作業に拠る観察草地の観察・保全作業を計画したが、４月のオリエンテーションのみの観察会を実施した。

２．　里山から得られる恵みを活用して”作る”、”楽しむ”をキーワードにして里山の木の実や間伐材（端材）等を利用した『ネィチャークラフト』を毎月計画したが天候不順が続き４回のみの開催となった。

３．　バラまつり会場で昔ながらの『竹トンボ』を作り、滞空時間を競うコンテストを実施し優秀者を表彰した。

４．　バラまつり・里山まつり会場で、キッズダンス・軽音楽ステージを提供した。

５．　バラまつり・里山まつり会場里山の恵み(餅つき、フランクフルト等食品、竹炭及び竹細工製品)を有償提供した。

６．　里山環境を活用して”採取”、”作る”、”食する”、”楽しむ”をキーワードにして『自然体験教室』を５・６・７・８・９・１１・１２・１・２月に草木染・藍染・クッキング・プレート・クリスマスリース・お正月飾り・炭焼を１０回実施した。

７．　大池の特定外来生物のアメリカザリガニを６－９月に４回駆除活動を実施した。

８．　竹間伐材で作成した竹細工を公園来園者・行事参加者に有償提供した。

９．　炭焼作業にて製作された竹・木炭及び竹・木酢液を公園来園者・行事参加者に有償提供した。

１０．　根菜類の植付け、収穫行事にて収穫された根菜類の試食・販売を有償提供した。

１１．　都筑中央公園の自然環境を利用した講座、勉強会を開催した。

昆虫博士養成講座　　７月の土・日曜日２日間連続で小学生を対象に開催した。

生物多様性勉強会　　１１・１２・１・２・３月に成人を対象に５回開催予定したが、最終回がコロナウィルスの影響により開催できず４回の開催で終了した。

１２．　萌芽更新したエリアに対して、萌芽更新後の植生モニタリングを実施した。

１３．　お正月遊びに羽子板に拠る羽根つきコンテストを実施し、優秀者を表彰した。

Ⅳ．その他

１．　自己評価の実施

（１）　月次に開催する『部会代表連絡会議』に行事実績の評価を実施し、令和２年度の計画に反映させた。

（２）　半期毎に活動総括を行い、令和２年度の計画立案に反映させた。

２．　日常業務の調整

（１）　施設を適切に管理するため、横浜市と必要に応じミーティングを開催した。

（２）　日常業務に付いて必要に応じ意見交換・調整を行った。

３．　横浜市脱温暖化方針Ｇ－３０・ヨコハマｂプランへの協力

（１）　横浜市脱温暖化方針に従い、温室効果ガス排出量の削減や緑化の為に企業排出ゴミを横浜市ルート回収システムで実施した。

（２）　食品を提供する行事（春の『バラまつり』、秋の『里山まつり』、冬の『お正月遊び』）にゴミ分別ステーションを設置し、分別方法を指導した。

（３）　『ヨコハマｂプラン』に則り、生物多様性勉強会を５回に渡り開催した（最終

回はコロナウィルスのため中止)。

４．　その他横浜市への協力

９月『フォローアップ研修』に保全・調査観察部会及び事務局（理事・副理事長同行）が参加協力した。

５．　法令等の遵守

管理運営に当たっては、都市公園法、横浜市公園条例、地方自治法等関連法令等を遵守した運営を実施した。

Ⅴ．管理運営経費

１．　経費方針

（１）経費節減

①　物品購入に際し、ネット・近隣ディスカウントショップにて可能な限り価格調査し安価な良品を購入した。

②　印刷費は最小限に抑制した。

③　会員に対し、会報送付を可能な限りインターネットメール利用にする。

（２）指定管理費以外の資金調達

①　受益者負担の観点から、参加者から応分の参加費の負担を求め活動原資とした。

②　活動に伴う成果物は、イベントでの使用や有償で利用者へ還元し、活動原資とした。

Ⅴ　管理運営経費

１　貸借対照表

２　令和元年度　活動計算書

３　令和元年度　収支計算書

貸借対照表（令和２年3月31日現在）

法人の名称　　特定非営利活動法人都筑里山倶楽部

資産の部			負債・剰余の部		
勘定科目	金額	備考	勘定科目	金額	備考
現金	118,829		未払金	1,738,700	
手許現金	118,829		3月分給料	1,010,736	事務局員の 3月分給料等
			未払法人税等	529,800	消費税 法人県市民税
			その他	198,164	未払実費弁償費 ルート回収費他
預貯金	11,190,828		前受金	67,000	
横浜銀行 普通預金	11,190,828			67,000	入会金・年会費
固定資産	999,629		預り金	81,532	
工具器具備品	885,961	軽トラ・樹木粉砕機	源泉所得税 預り金等	81,532	１月～３月分
車両運搬具	113,668	運搬機 （筑水キャニコム）			
			固定負債	8,344,400	
その他資産	114,202		高額備品購入 修理準備金	8,344,400	樹木粉砕機購入の為 ￥1,155,600取り崩し
差入保証金	25,070	ＡＥＤリース保証金 軽トラリサイクル 預託金			
前払費用	87,710	レクリエーション保険 弥生会計サポート料他	剰余金	2,191,856	
未収入金	1,422	古紙収入	前期繰越金	934,186	
			当期純損益金	1,257,670	
資産合計	12,423,488		負債合計	12,423,488	

監　査　報　告

令和元年度における、特定非営利活動法人都筑里山倶楽部の収支計算書、貸借対照表、財産目録及び関係帳簿証書等を監査した結果、適正かつ正確に処理されていましたので報告いたします。

監事　　荒　井　眞一郎

吉　野　富　雄

令和元年度 活動計算書

（その他の事業会計）

法人の名称　特定非営利活動法人　都筑里山倶楽部

平成31年４月１日から令和２年３月31日

法人の名称　　特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部

科目	金　額（円）	備　　考
Ⅰ　収入の部		
1　事業収入	80,589	自販機手数料
当期収入合計（A）	80,589	
前期繰越収支差額	0	
収入合計（B）	80,589	
Ⅱ　支出の部		
1　事業支出	0	令和３年３月３１日迄納付済
繰入金支出		
当期支出合計（C）	0	
当期収支差額（A）－（C）	80,589	
本会計繰入	80,589	

特定非営利活動法人　都筑里山倶楽部

令和元年度　収支計算書

勘定科目	予算額	決算額	差異	予実比	備考
【　収入の部　】					
1.指定管理経費収入	**18,298,395**	**18,298,395**	**0**	100	
1.指定管理経費収入	18,298,395	18,298,395	0	100	
2. 協力金・事業収入	**1,851,550**	**1,765,542**	**-86,008**	95	
1.入会金	25,000	26,500	1,500	106	
2.年会費	186,000	136,650	-44,350	76	H30年度末より会員数15名減少
3.賛助会員年会費	0	5,000	5,000	0	
4.寄付金	0	5,684	5,684	0	募金箱開封、寄付1名
5.協力金	160,000	161,750	1,750	101	
6.指定管理事業特別収入	750,000	712,079	-37,921	95	
1.バラまつり収入	200,000	223,329	23,329	112	飲み物販売増
2.七夕まつり収入	50,000	43,400	-6,600	87	
3.里山まつり収入	450,000	386,750	-63,250	86	
4.お正月遊び収入	50,000	58,600	8,600	117	参加者増
5.その他行事収入（指定）	0	0	0	0	
7.自主事業収入	700,000	681,935	-18,065	97	
1.スプリングフェア収入	140,000	234,350	94,350	167	竹細工販売・体験増
2.区民まつり収入	180,000	192,845	12,845	107	
3.その他行事収入（自主）	380,000	254,740	-125,260	67	
8. 雑収入	30,550	35,944	5,394	118	
1.雑収入（指定）	1,550	112	-1,438	7	
2.雑収入（自主）	29,000	35,832	6,832	124	
3.その他事業収入	**110,000**	**80,589**	**-29,411**	73	
1.自販機手数料収入	110,000	80,589	-29,411	73	
2.その他事業収入	0	0	0	0	
収入合計	**20,259,945**	**20,144,526**	**-115,419**		

特定非営利活動法人　都筑里山倶楽部

令和元年度　収支計算書

勘定科目	予算額	決算額	差異	予実比	備考
【　支出の部　】					
1 .施設管理事業費	**1,518,000**	**1,318,561**	**-199,439**	87	
1.　施設管理事業費	204,000	260,134	56,134	128	
1.保守修繕費	80,000	101,970	21,970	127	トイレ清掃業者依頼
2.備品費（施設管理）	20,000	14,904	-5,096	75	
3.消耗品費（施設管理）	0	12,676	12,676	0	
4.ＡＥＤ設置費	64,000	64,453	453	101	
5.資源回収費	40,000	66,131	26,131	165	レストハウス・倉庫大掃除により
6.雑費（施設管理）	0	0	0	0	
2.　展示事業費	94,000	63,002	-30,998	67	
3.　トイレ清掃管理費	780,000	562,025	-217,975	72	
1.備品費（トイレ管理）	10,000	0	-10,000	0	
2.消耗品費（トイレ管理）	20,000	9,937	-10,063	50	
3.清掃外注費（トイレ管理）	750,000	551,030	-198,970	73	１－３月作業員休み
4.雑費（トイレ管理）	0	1,058	1,058	0	
4. 施設賠償保険料	440,000	433,400	-6,600	99	
2. 事業費	**3,541,000**	**3,343,647**	**-197,353**	94	
1.事業活動費	3,256,000	3,097,646	-158,354	95	
1.事務局主催活動費	360,000	366,284	6,284	102	
2.保全田畑部会活動費	1,480,000	1,456,760	-23,240	98	
3.炭焼部会活動費	1,196,000	1,043,883	-152,117	87	
4.調査観察部会活動費	170,000	188,919	18,919	111	
5.親子自然体験部会活動費	50,000	41,800	-8,200	84	
2.保険関係費	50,000	53,756	3,756	108	
3.車輌・運送費	230,000	192,245	-37,755	84	
4.雑費（フィールド管理）	5,000	0	-5,000	0	
3.広報活動事業費	**140,000**	**173,640**	**33,640**	124	公園案内パンフレット印刷
4.指定管理事業費	**993,000**	**905,574**	**-87,426**	91	
1.バラまつり諸経費	250,000	286,945	36,945	115	
2.七夕まつり諸経費	40,000	69,352	29,352	173	
3.里山まつり諸経費	440,000	445,629	5,629	101	
4.お正月遊び諸経費	63,000	53,700	-9,300	85	
5.その他行事諸経費	200,000	49,948	-150,052	25	
5.自主事業経費	**630,000**	**629,276**	**-724**	100	
1.スプリングフェア諸経費	80,000	106,253	26,253	133	
2.区民まつり諸経費	120,000	103,624	-16,376	86	
3.その他行事諸経費（自主）	430,000	419,399	-10,601	98	

特定非営利活動法人　都筑里山倶楽部

令和元年度　収支計算書

勘定科目	予算額	決算額	差異	予実比	備考
6.一般管理費（人件費）	**11,388,875**	**11,443,098**	**54,223**	100	
1.役員報酬費	3,756,000	3,756,000	0	100	
2.職員報酬費	7,507,875	7,509,397	1,522	100	
3.社会保険負担金	25,000	31,788	6,788	127	雇用保険対象者増
4.旅費・その他福利費	100,000	145,913	45,913	146	事務所お茶代仕訳変更（消耗品から）
7. 一般管理費（事務費）	**1,140,070**	**1,093,551**	**-46,519**	96	
1.会議費	100,000	77,484	-22,516	77	
2.研修費	10,000	0	-10,000	0	
3.通信運搬費	120,000	108,086	-11,914	90	
4.備品費（事務費）	220,000	0	-220,000	0	倉庫整理棚購入予定→収納ケース
5.消耗品費（事務費）	120,000	271,270	151,270	176	コンテナBox、倉庫収納ケース購入
6.事務機器等保守費	115,000	154,072	39,072	134	PC修理
7.事務委託費	270,000	330,000	60,000	122	委託料値上がり
8.印刷費	160,000	127,008	-32,992	79	デジタルカラー複合機リース料
9.雑費（事務費）	25,000	25,415	415	342	
10.その他	70	216	146	309	
1.租税公課	70	216	146	309	
8.その他事業経費	**10,000**	**10,364**	**364**	104	
1.自販機設置料	0	0	0	0	
2.その他事業諸経費	10,000	10,364	364	104	
9.消費税	**830,000**	**823,600**	**-6,400**	99	
10.減価償却費	**69,000**	**326,644**	**257,644**	473	樹木粉砕機購入
支出合計	**20,259,945**	**20,067,955**	**-191,990**		
収支残高		**76,571**			

勘定科目	予算額	決算額	差異	予実比	備考
1.法人税・住民税及び事業税					
1.法人税		0			
2.事業税		0			
3.法人県民税		20,000			
4.法人市民税		54,500			
計		**74,500**			
税引き後収支残高		**2,071**			次期繰越金

令和元年度　横浜市借用備品リスト

管理番号	借用整理番号	品　　名	総数量	出納年月日	部署名	備　考	所在名	更新年月日
3		ホワイトボード	1	01-Jun-02	事務局	横浜市より借受	2F展示室(レストハウス)	01-Apr-05
4		長テーブル(幅広)	1	01-Jun-02	事務局	横浜市より借受	2F展示室(レストハウス)	01-Apr-05
6		スチールロッカー(2連)	2	01-Jun-02	事務局	横浜市より借受	2F倉庫(レストハウス)	01-Apr-05
8		掲示板	1	01-Jun-02	事務局	横浜市より借受	2F事務室(レストハウス)	01-Apr-05
9		ライトボックス整理棚	1	01-Jun-02	保全・田畑	横浜市より借受	階段室(レストハウス)	01-Apr-05
10		長テーブル	1	01-Jun-02	保全・田畑	一部交換のため分割残　横浜市より借受	休憩所(ばじょうじ谷戸)	20-Mar-18
12		会議用丸テーブル	2	01-Jun-02	保全・田畑	横浜市より借受	休憩所(ばじょうじ谷戸)	01-Apr-05
16		電動チェンソー	1	01-Jun-02	事務局	横浜市より借受	1F倉庫(レストハウス)	01-Apr-05
17	6- 3-1	発電機　ホンダ　EU9i	1	01-Jun-02	炭焼	横浜市より借受	炭焼施設(宮谷戸)	31-Mar-08
20		脚立	3	01-Jun-02	炭焼	数量変更　横浜市より借受　15/03/31	階段室(レストハウス)	03-May-19
22	7- 8-1	リヤカー　木枠付　村松車両　MR3	1	01-Jun-02	保全・田畑	横浜市より借受	炭焼施設(ばじょうじ谷戸)	01-Apr-05
24		事務机(平机)(守屋)	1	04-Jun-02	事務局	新規購入	2F会議室(レストハウス)	01-Apr-05
25		事務机(片袖)(登美)	1	04-Jun-02	事務局	新規購入	2F事務室(レストハウス)	01-Apr-05
27		コイン式ロッカー(8人用)	3	04-Jun-02	保全・田畑	横浜市より借受	休憩所(ばじょうじ谷戸)	01-Apr-05
48	1-14-3	ｸﾛｽｵｰﾙﾊﾟﾈﾙﾁｮﾀﾞﾃﾞｨｽﾃﾑ　PF100-162LA	2	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F展示室(レストハウス)	01-Apr-05
51	4-10-1	水槽スチール台付ニッソー　ANS-11	2	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2Fその他(レストハウス)	01-Apr-05
52	1- 8-1	ダストカート　ウチダ6-410-0032	1	09-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F事務室(レストハウス)	01-Apr-05
53	1- 5-1	ランマ型両開き扉保管庫　ﾎｳﾄｸ　VFA162	4	09-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F事務室(レストハウス)	01-Apr-05
54	1- 4-1	椅子専用台車　ﾎｳﾄｸ　M1-10 XA1592	2	28-Mar-03	事務局	横浜市より借受	2F倉庫(レストハウス)	27-May-06
55	1- 5-4	角型ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾃｰﾌﾞﾙ　ﾎｳﾄｸ　ｼﾞﾝｼﾞﾔｰECA200ｵｰｸ	5	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F展示室(レストハウス)	01-Apr-05
56	1- 5-4	会議用テーブル　ﾎｳﾄｸ3人かけｴﾃﾞｨﾀｰFXL33Mﾁｰｸ	13	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2Fその他(レストハウス)	01-Apr-05
57	1- 5-1	両開き扉保管庫　ﾎｳﾄｸ　VFA102	4	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F会議室(レストハウス)	31-Mar-12
58	1-14-3	ホワイトボード〔コピー機能付〕　ウチダ7-140-0200	1	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F会議室(レストハウス)	01-Apr-05
59		ホワイトボード	1	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F展示室(レストハウス)	01-Apr-05
60	1- 5-1	保管庫1／2型引出し　ﾎｳﾄｸ　VFA141	2	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F事務室(レストハウス)	31-Mar-12
61	1-14-3	パンフレットラック　ウチダ6-400-653	1	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F玄関(レストハウス)	01-Apr-05
62	1- 5-4	事務机(片袖)　コクヨ　BD型デスクシステム	4	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F事務室(レストハウス)	01-Apr-05
63	1- 5-3	事務椅子(両肘)　コクヨ　CR-G203F4HS69-WN	4	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F事務室(レストハウス)	01-Apr-05
64	1- 5-1	ガラス引き違い保管庫　ﾎｳﾄｸ VFA123	2	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F事務室(レストハウス)	31-Mar-12

令和元年度　横浜市借用備品リスト

管理番号	借用整理番号	品　　名	総数量	出納年月日	部署名	備　考	所在名	更新年月日
68	5- 2-1	スクリーン　シャープ　XU-MB80	1	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F会議室(レストハウス)	01-Apr-05
70	1-12-1	冷蔵庫　シヤープ　SJ-SV40G-S	1	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2F倉庫(レストハウス)	01-Apr-05
72		食器棚	1	18-Apr-03	事務局	寄贈	2F倉庫(レストハウス)	01-Apr-05
76		下駄箱(シューズラック)	2	27-May-03	事務局	新規購入	2F会議室(レストハウス)	01-Apr-05
86		用具入れ物置	3	14-Dec-04	保全・田畑	新規購入	休憩所(ばじょうじ谷戸)	01-Apr-05
89		ディスクグラインダー(RYOUBI)T.G61	1	11-Mar-05	炭焼	横浜市より借上受	1F倉庫(レストハウス)	03-May-19
90		切断機(RYOBI　C-12NA)	1	11-Mar-05	炭焼	替え刃更新復活　横浜市より借受08/3	1F倉庫(レストハウス)	03-May-19
91		食器棚	1	07-Jan-05	保全・田畑	新規購入	休憩所(ばじょうじ谷戸)	01-Apr-05
95	1- 5-4	会議用テーブル　ﾎｳﾄｸ3人かけｴﾃﾞｨﾀｰFXL33Mﾁｰｸ	3	08-Apr-03	事務局	横浜市より借受	2Fその他(レストハウス)	16-Mar-17
258		ノート型パソコン(DYNABOOK PAEX2513)	1	01-Jun-05	事務局		2F会議室(レストハウス)	31-Mar-12
262		自動秤(100K)(みのり70003)	1	06-Jan-06	炭焼	横浜市より借受　08/3/15	1F倉庫(レストハウス)	03-May-19
295	不明	発電機(ヤンマー)(G2800ISE)	1	06-Feb-07	炭焼	横浜市より借受(追加分)09/03/27	1F倉庫(レストハウス)	03-May-19
296	NO.3	共立チェンソー　CSE2700W	1	16-Mar-07	保全・田畑	横浜市より借受(追加分)	休憩所(ばじょうじ谷戸)	17-Mar-16
297	不明	エンジンチェンソー(共立)(CSE2700W)	2	16-Mar-07	炭焼	横浜市より借受(追加分)　1台追(08/3	1F倉庫(レストハウス)	03-May-19
298	不明	共立仮払機　SRE2600	1	16-Mar-07	保全・田畑	横浜市より借受(追加分)	1F作業所(レストハウス)	27-Mar-07
299	不明	共立トリマー　HT120	1	16-Mar-07	保全・田畑	横浜市より借受(追加分)	1F作業所(レストハウス)	27-Mar-07
375	1-5-1	物置　イナバ　MBW-30	1	01-Jun-02	調査	横浜市より借受　　登録漏れ	1F駐車場物置(レストハウス)	31-Dec-09
408		冷蔵庫(東芝　GR-427W)	1	08-Sep-10	保全・田畑	借用品更新　新規購入	休憩所(ばじょうじ谷戸)	31-Mar-11
479	5-2-1	EPSON　プロジェクター(EHTW410)	1	10-Feb-15	事務局	横浜市借用品買い替え	2F会議室(レストハウス)	19-Feb-15
480	5-1-1	シャープテレビ(LC24K20B)	1	24-Feb-15	事務局	横浜市借用備品買替	2F会議室(レストハウス)	31-Mar-15
527		長テーブル(テーブル面白色)	1	20-Mar-18	保全・田畑	No10　一部交換品	休憩所(ばじょうじ谷戸)	20-Mar-18